

第二章 身體器官の共働

前章の如き新陳代謝に由りて起る生活現象は實に是身體各器官が相共同して其働きを爲すによるものにして其内若し一器官の働きに不充分なるものあらんか、全身の生活状態また必ず不充分なるを免かれず例之ば吾人の眼前に陳列せられたる佳肴ありて心中何如に之を食はんとするも若し筋の麻痺せるあらんか之を採りて口に送ること能はずまた吾人春日日明かなるの時に當り山野に出遊して天然の美景を樂まんと欲すとも若し肺臟病み心臓疲れんか呼吸は促進し心悸は亢進し苦痛の反りて快樂を消し去るものありて其の目的を達し能はざるべし是を以て考ふれば身體は諸器官の共働所にして生活は其等の共働によることまた疑ふべからず口は管に美味を知るを以て能とせんや時としては惡味を辨別し之を退けて身體を害せざらしむべし目は唯花鳥を見るを以て能となさんや時としては畏るべき猛敵の襲來を見て之を避くるの用意を致すべし故に口は口の爲に

働くのみにあらず目は目の爲に働くのみにあらず其他の器官また必ず斯の如く、其の健否は必ず全身の安危に關せざることなし豈絶妙の裝置にあらずや日月の運行する山岳の登ゆる河海の湛ゆる雷霆の變風雨の異は共に吾人をして少時より其不可思議を驚歎せしめし所の現象なり然れども今に至りて吾人は其精神の遠視的なりしを歎ず顧みれば近くこの自己の身もまた實に一の妙不可思議物にして五尺の體内に無數の事能日夜に發起しつゝあるにあらずや

看業用法 人體の解剖及生理 終

附 録 度量衡比較表及三氏檢温器度目改算法

尺 度

大日本	一	分	一	寸	一	尺	一	丈
佛 國	三	密	迷	強	三	仙	迷	強
佛 國	一	密	迷	一	仙	迷	一	垓
大日本	三	厘	三	毛	三	分	三	厘
佛 國	一	密	迷	一	仙	迷	一	垓
大日本	三	厘	三	毛	三	分	三	厘
佛 國	一	密	迷	一	仙	迷	一	垓

何れも下段は上段の十倍なり
一迷の十倍は一ヤカ迷
一迷の百倍は一ヘクト迷
一迷の千倍は一キロ迷

容 量

大日本	一	勺	一	合	一	升	一	斗
佛 國	十	八	瓦	強	百	八	十一	瓦
佛 國	一	瓦	一	仙	一	瓦	一	瓦
大日本	十	六	滴	五	才	半	五	勺
佛 國	一	瓦	一	仙	一	瓦	一	瓦
大日本	十	六	滴	五	才	半	五	勺
佛 國	一	瓦	一	仙	一	瓦	一	瓦

何れも下段は上段の十倍なり
容量の一瓦は一仙迷立方ある蒸
溜水の體積を云ふ故に水一瓦と
云ふも水一仙迷立方と云ふと同
様なり

權 衡

大日本	一	毛	一	厘	一	分	一	匁
佛 國	四	密	瓦	弱	四	仙	瓦	弱
佛 國	一	密	瓦	一	仙	瓦	一	瓦
大日本	千	分	二	分	六	厘	強	二
佛 國	一	密	瓦	弱	四	垓	瓦	弱
大日本	千	分	二	分	六	厘	強	二
佛 國	一	密	瓦	弱	四	垓	瓦	弱

以上唯簡明と實用とを主とせざるが故に強て繩墨に拘はらず之を載列せり而して表中佛國の度量衡のみを對照したるは其の萬國
に共通にして最も必要なるが爲なり

何れも下段は上段の十倍なり

三氏檢温器度目改算法

比 較

	攝	氏	列	氏	華	氏
氷	點	零	度	零	度	三十二度
沸	騰	點	百	度	八	十
割	合		五		四	九

華氏の氷點は三十二度な
り故に二百十二度より三
十二度を引去りて割合を
定む

(一) 攝氏を列氏に改むるには攝氏の度に四を乗じ五にて除すべし

例令ば攝氏二十度なれば $(20 \times 4) : 5 = 16$

×は乗けるしるし : は除るしるしあり ○は何度のしるしなり

(二) 列氏を攝氏に改むるには列氏度に五を乗じ四にて除すべし

例令は列氏十六度ならば $(16 \times 5) : 4 = 20$

(三) 攝氏を華氏に改むるには攝氏度に九を乗し五にて除し之に三十二を加ふべし

60
71

(四) 華氏を攝氏に改むるには華氏度より三十二を減じ之に五を乗じ九にて除すべし
 例令は攝氏二十度なれば $(20 \times 9) : 5 \text{ 除 } 36^\circ$ $36^\circ + 32^\circ \text{ 除 } 68^\circ$

例令は華氏六十八度ならば $68 - 32^\circ \text{ 除 } 36^\circ$ $(36 \times 5) : 9 \text{ 除 } 20^\circ$
 + は加へるしるし - は減ずるしるしなり

(六) 華氏を列氏に改むるには華氏度より三十二を減じ之に四を乗し九にて除すべし

例令は華氏七十七度ならば $77 - 32^\circ \text{ 除 } 45^\circ$ $(45 \times 4) : 9 \text{ 除 } 20^\circ$

(五) 列氏を華氏に改むるには列氏度に九を乗し四にて除し之に三十二度を加ふべし

例令は列氏二十度ならば $(20 \times 9) : 4 \text{ 除 } 45^\circ$ $45^\circ + 32^\circ \text{ 除 } 77^\circ$

是等の算法に熟すれば如何なる場合にも應用自在なり

